

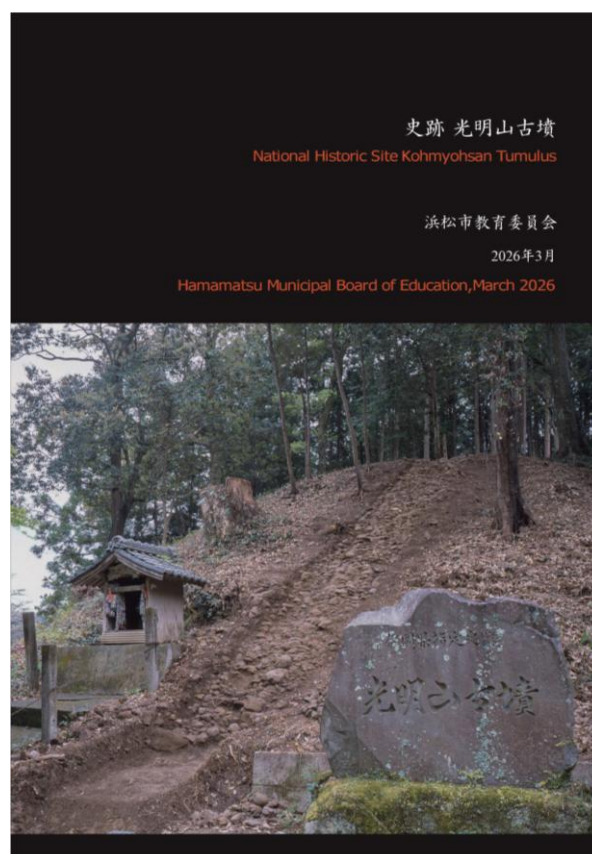
## 発掘調査報告書「史跡 光明山古墳」を刊行しました

浜松市文化財課では、国の史跡「光明山古墳<sup>こうみょうさん</sup>」の歴史的価値や意義をさらに深めるための調査・研究を行い、発掘調査報告書「史跡 光明山古墳」を刊行しました。

「史跡 光明山古墳」は、A4判本文82ページ、図版26頁。浜松市役所文化財課（中央区元城町）や浜松市地域遺産センター（浜名区引佐町井伊谷）、浜松市博物館（中央区蛸塚四丁目）、天竜区役所まちづくり推進課（天竜区二俣町二俣）で5月28日から税込1,000円にて販売します。また、PDF版を市のホームページから閲覧できます（奈良文化財研究所が運用する文化財総覧へ遷移します）。調査研究を通じて明らかになった歴史的な価値や内容を紹介する講座や小展示を下記のとおり開催します。

### 【発掘調査報告書「史跡 光明山古墳」の販売情報】

- 1 刊行物名 史跡 光明山古墳
- 2 内 容 光明山古墳
- 3 販売部数 200部
- 4 価 格 1,000円（税込み）
- 5 販売開始 令和8年5月28日（木）
- 6 販売場所 文化財課（浜松市役所本館3階）  
浜松市地域遺産センター  
（浜名区引佐町井伊谷616-5）  
浜松市博物館  
（中央区蛸塚四丁目22-1）  
天竜区まちづくり推進課  
（天竜区役所2階）
- 7 PDFデータ 「はままつの文化財」  
→「刊行物のご案内」から閲覧可能  
奈良文化財研究所が運用する文化財総覧へ  
遷移します。



**【講座】 光明山古墳から解き明かす5世紀の遠江（別添チラシ参照）**

- 1 日 時 令和8年6月20日（土）午前10時から正午まで
- 2 会 場 浜松市博物館 講座室（中央区蛸塚四丁目22-1）
- 3 講 師 鈴木一有（浜松市博物館長）・和田達也（浜松市文化財課）
- 4 定 員 60名（事前申込み、先着順）
- 5 申込方法 5月28日（木）から文化財課ホームページ、申込みフォームにて。
- 6 参加費用 無料（博物館観覧料が必要）

**【展示情報】 浜松市博物館と浜松市地域遺産センターにて小展示を実施****（別添チラシ参照）**

小展示 光明山古墳

会 場 浜松市博物館コンコース

期 間 令和8年6月23日（火）まで

内 容 光明山古墳の特徴をパネルと出土品展示にて紹介。

小展示 光明山古墳と浜名湖北岸の5世紀

会 場 浜松市地域遺産センター

期 間 令和8年5月28日（木）から令和8年6月23日（火）まで

内 容 光明山古墳が造られた頃の浜名湖北岸地域の様子を紹介

**【光明山古墳の概要】**

光明山古墳は、天竜区山東に所在する全長83メートルの前方後円墳です。浜松市内で最大の規模かつ、墳丘の保存状態が良好です。古墳の形態は近畿地方中枢部からの情報享受を指摘できるほどに類似しています。いっぽう、埴輪は輪台技法を採用した淡輪系埴輪ですが、近畿地方の埴輪に比べて個性的な形態をしており、独自性を併せ持っています。

光明山古墳は、5世紀における近畿地方中枢部と地域の情報伝達や政策のあり方、地域の変容を明らかにする上で注目できます。良好な保存状態や歴史的重要性が評価され、令和2年（2020）3月10日に国の史跡に指定されました。